

## 【 資 料 編 】

- ・ 写 真 集
- ・ 日 報
- ・ スポットチェック野帳
- ・ 水温計測結果



# 写 真 集





撮影日	令和 7年 10月 29日
場所	桜島港
調査船	



撮影日	令和 7年 10月 29日
場所	桜島港
調査器材	



撮影日	令和 7年 10月 29日
場所	桜島港
出港前危険予知活動	



撮影日	令和 7年 10月 27日
場所	霧島錦江湾国立公園管理事務所
貸与物	
鉄杭	
水温ロガー & USBインターフェイス一式	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 東部
調査地点	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 東部
代表景観	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 東部
代表景観	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 東部
死サンゴ上のガンガゼ	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 東部
立神近くの浅所	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 東部
死サンゴ	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 東部
調査状況	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 東部
シコロサンゴ属	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 東部
スリバチサンゴ属	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 東部
ウミトサカ科	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 東部
イボサンゴ属	



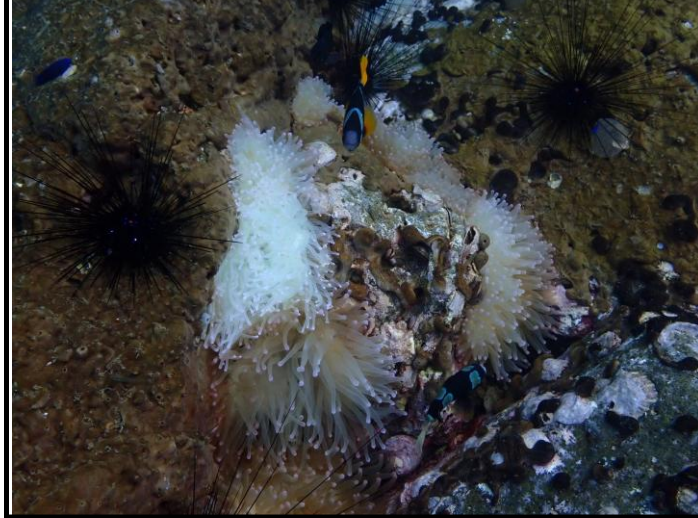
撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 東部
ガンガゼ生息状況	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 東部
コブヒトデモドキとガンガゼ	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 東部
スジアラ (ハタ科)	



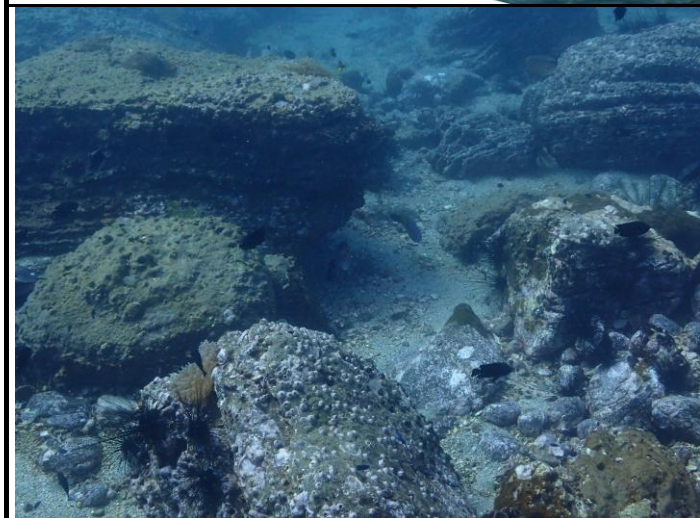
撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 東部
イソギンチャク類の群生・白化	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 東部
方形樁 (鉄杭) 設置状況	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 南部
調査地点	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 南部
代表景観	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 南部
代表景観	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 南部
ガンガゼ生息状況	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 南部
釣り具	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 南部
死サンゴ	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 南部
調査状況	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 南部
シコロサンゴ属	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 南部
スリバチサンゴ属	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 南部
ナンコツカイメン類	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 南部
多種混成	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 南部
ガンガゼ生息状況	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 南部
コブヒトデモドキ	







撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 南部
ヒブダイ (フダイ科)	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 南部
イソギンチャク類の白化	



撮影日	令和 7年 10月 28日
場所	沖小島 南部
方形棒 (鉄杭) 設置状況	

	撮影日	令和 7年 10月 29日
	場所	桜島 ケイレ湾
	調査地点	
	撮影日	令和 7年 10月 29日
	場所	桜島 ケイレ湾
	代表景観	
	撮影日	令和 7年 10月 29日
	場所	桜島 ケイレ湾
	代表景観	
	撮影日	令和 7年 10月 29日
	場所	桜島 ケイレ湾
	ガンガゼ生息状況	
	サンゴの隙間に少数確認される	



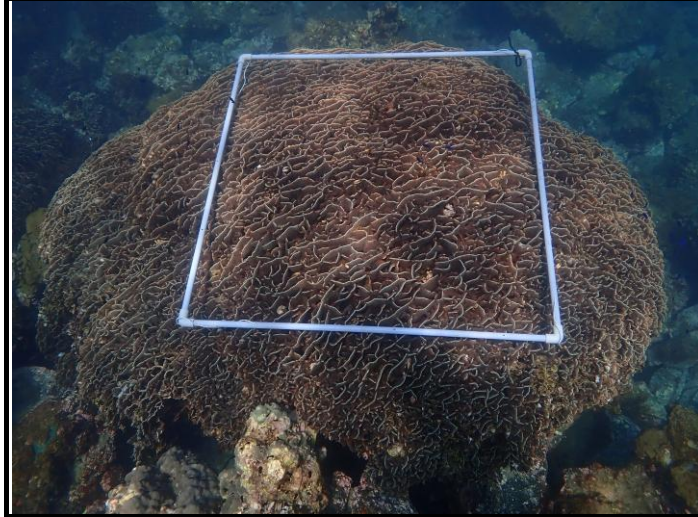
撮影日	令和 7年 10月 29日
場所	桜島 ケイレ湾
ミドリイシに絡まる釣り糸	



撮影日	令和 7年 10月 29日
場所	桜島 ケイレ湾
魚類によると思われる摂食痕	



撮影日	令和 7年 10月 29日
場所	桜島 ケイレ湾
調査状況	



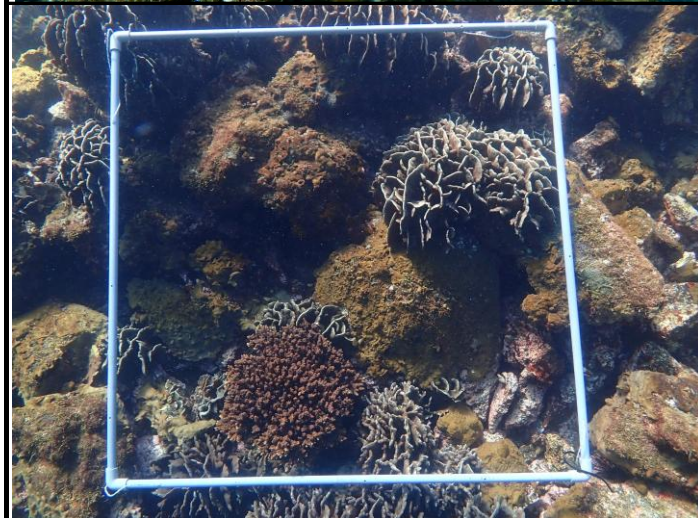
撮影日	令和 7年 10月 29日
場所	桜島 ケイレ湾
シコロサング属大型群体	



撮影日	令和 7年 10月 29日
場所	桜島 ケイレ湾
ミドリイシ属	



撮影日	令和 7年 10月 29日
場所	桜島 ケイレ湾
ナンコツカイメン類	



撮影日	令和 7年 10月 29日
場所	桜島 ケイレ湾
多種混成	



撮影日	令和 7年 10月 29日
場所	桜島 ケイレ湾
ガンガゼ生息状況	
サンゴや礫の隙間に少数確認される	



撮影日	令和 7年 10月 29日
場所	桜島 ケイレ湾
ホンダワラ属 (幼体)	







撮影日	令和 7年 10月 29日
場所	桜島 ケイレ湾
イラ (ベラ科)	



撮影日	令和 7年 10月 29日
場所	桜島 ケイレ湾
イソギンチャク類の白化	



撮影日	令和 7年 10月 29日
場所	桜島 ケイレ湾
方形枠 (鉄杭) 設置状況	

	撮影日	令和 8年 1月 27日
	場所	沖小島 東部
	調査地点	
	撮影日	令和 8年 1月 27日
	場所	沖小島 東部
	代表景観	
	撮影日	令和 8年 1月 27日
	場所	沖小島 東部
	代表景観	
	撮影日	令和 8年 1月 27日
	場所	沖小島 東部
	砂礫上のガンガゼ	



撮影日	令和 8年 1月 27日
場所	沖小島 東部
浅所にはフクロノリとヒジキ幼体が繁茂	



撮影日	令和 8年 1月 27日
場所	沖小島 東部
死サンゴ	



撮影日	令和 8年 1月 27日
場所	沖小島 東部
調査状況	



撮影日	令和 8年 1月 27日
場所	沖小島 東部
シコロサンゴ属	



撮影日	令和 8年 1月 27日
場所	沖小島 東部
スリバチサンゴ属	



撮影日	令和 8年 1月 27日
場所	沖小島 東部
ウミトサカ科	



撮影日	令和 8年 1月 27日
場所	沖小島 東部
ハマサンゴ属	



撮影日	令和 8年 1月 27日
場所	沖小島 東部
ガンガゼ生息状況	



撮影日	令和 8年 1月 27日
場所	沖小島 東部
コブヒトデモドキ	







撮影日	令和 8年 1月 27日
場所	沖小島 東部
2m以浅の海藻類の繁茂	



撮影日	令和 8年 1月 27日
場所	沖小島 東部
水温計交換状況	



撮影日	令和 8年 1月 27日
場所	沖小島 東部
水温計設置状況	

	撮影日	令和 8年 1月 27日
	場所	沖小島 南部
	調査地点	
	撮影日	令和 8年 1月 27日
	場所	沖小島 南部
	代表景観	
	撮影日	令和 8年 1月 27日
	場所	沖小島 南部
	代表景観	
	撮影日	令和 8年 1月 27日
	場所	沖小島 南部
	死サンゴ上のガンガゼ	



撮影日	令和 8年 1月 27日
場所	沖小島 南部
サンゴと競合するナンコツカイメン類	



撮影日	令和 8年 1月 27日
場所	沖小島 南部
隙間にわずかに確認できる海藻類	



撮影日	令和 8年 1月 27日
場所	沖小島 南部
調査状況	



撮影日	令和 8年 1月 27日
場所	沖小島 南部
ガンガゼの齧り取りで劣化した標識テープ	



撮影日	令和 8年 1月 27日
場所	沖小島 南部
スリバチサンゴ属	



撮影日	令和 8年 1月 27日
場所	沖小島 南部
食痕（オニヒトデの可能性あり）	



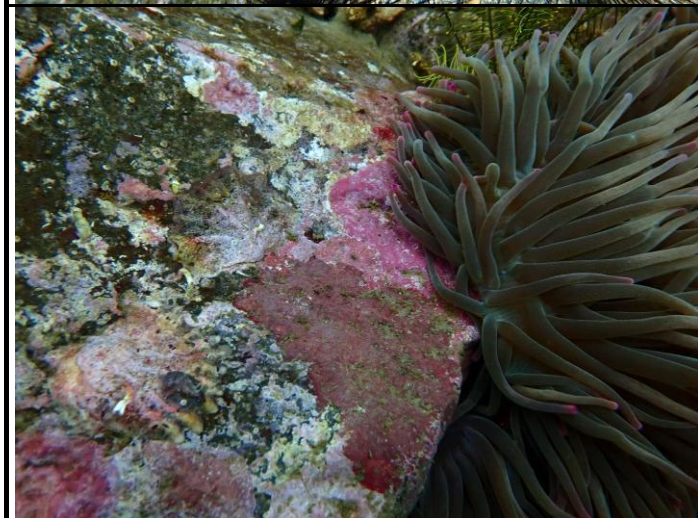
撮影日	令和 8年 1月 27日
場所	沖小島 南部
ミドリイシ属	



撮影日	令和 8年 1月 27日
場所	沖小島 南部
ガンガゼ生息状況	



撮影日	令和 8年 1月 27日
場所	沖小島 南部
イソギンチャク類は白化から回復	



撮影日	令和 8年 1月 27日
場所	沖小島 南部
隙間にわずかに確認できる無節サンゴモ類	



撮影日	令和 8年 1月 27日
場所	沖小島 南部
回収した令和6年度業務の水温計	



撮影日	令和 8年 1月 27日
場所	沖小島 南部
水温計設置状況	



# 日 報



調査地点：桜島沖小島東部	調査日：令和7年10月28日
調査水深：1～6m	サンゴ被度：5%未満（スポットチェック）
底質：岩・礫・砂	サンゴ育成型：多種混成型

- ・ガンガゼは多いが岸に近い浅場にはいない。
- ・ミドリイシ属は死サンゴのみ。
- ・シコロサンゴが最も多かった。
- ・水深3m以浅の浅所にサンゴはなかった。
- ・3月の調査で優占したホンダワラ類は確認されなかった。おそらく時期的な要因であると考える。
- ・岩盤上は海綿類で覆われる。
- ・岩盤基質上に海藻類は少なく、無節サンゴモ類もほぼみられない。かろうじて岩陰のみ確認できる。

調査地点図



白枠地点：モニタリング1000 調査範囲

赤枠範囲：スポットチェック調査範囲

\* 陸上部を除く

位置座標

●：スポットチェック

31.54326° N, 130.61664° E

■：5×5mコドラート

31.54348° N, 130.61670° E

×：水温ロガー

31.54353° N, 130.61665° E

\* R6年度の設置位置と誤差があったため座標を再取得

代表景観①



代表景観②



調査地点: 桜島沖小島南部	調査日: 令和7年10月28日
調査水深: 3~16m	サンゴ被度: 5%未満 (スポットチェック)
底質: 岩・礫・砂	サンゴ育成型: 多種混成型

- ・ガンガゼが多い(ただしサンゴ群体上にはいない)。一部が砂礫上に分布。
- ・ミドリイシ属はほとんどが斃死。
- ・過年度死サンゴ上をカイメン類が覆っている。
- ・サンゴ類の白化はなし。イソギンチャク類は白化個体あり。
- ・岩盤上は海綿類で覆われる。
- ・岩盤基質上に海藻類は少なく、無節サンゴモ類もほぼみられない。かろうじて岩陰のみ確認できる。
- ・釣り具(疑似餌)を数個確認。近傍に釣り人も確認した。

調査地点図



白枠地点: モニタリング1000 調査範囲

赤枠範囲: スポットチェック調査範囲

位置座標

●: スポットチェック

西側 31.54121° N, 130.61546° E

東側 31.54162° N, 130.61574° E

■: 5×5mコドラート

31.54149° N, 130.61555° E

×: 水温ロガー

31.54169° N, 130.61567° E

\*R6年度の設置位置(同所で確認済み)


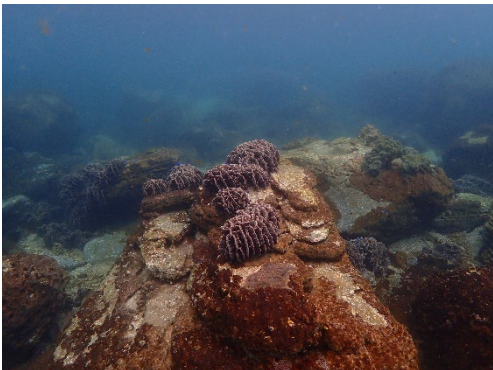

代表景観①



代表景観②



調査地点: 桜島ケイレ湾	調査日: 令和7年10月29日
調査水深: 2~8m	サンゴ被度: 25% (スポットチェック)
底質: 岩・礫・砂	サンゴ育成型: 多種混成型
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガンガゼは少ない。岩陰に潜んでいる。</li> <li>・岩盤基質上はホンダワラ類の幼体や微細紅藻類が多い。おそらく春季にはホンダワラ藻場（ガラモ場）を形成すると考えられる。</li> <li>・ミドリイシ属は散房花状が多く、卓上は少ない。</li> <li>・調査地点外では大型のオニヒトデ1個体（約40cm）を確認。</li> <li>・やや濁りあり。近傍に釣り人を確認した。</li> <li>・シコロサンゴ属のほかにハマサンゴ属、ルリサンゴ属、コモンサンゴ属、キクメイシ属等多様なサンゴ類を確認。</li> </ul>	
<p>調査地点図</p>  <p>赤枠範囲: スポットチェック調査範囲</p> <p>位置座標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●: スポットチェック             <ul style="list-style-type: none"> <li>北側 31.57992° N, 130.59765° E</li> <li>南側 31.57934° N, 130.59710° E</li> </ul> </li> <li>■: 5×5mコドラート             <ul style="list-style-type: none"> <li>31.57934° N, 130.59710° E</li> </ul> </li> </ul>	
代表景観①	代表景観②
	

調査地点：桜島沖小島東部	調査日：令和8年1月27日
調査水深：1～6m	サンゴ被度：5%未満（スポットチェック）
底質：岩・礫・砂	サンゴ育成型：多種混成型
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガンガゼは多いが岸に近い浅場にはいない。</li> <li>・ミドリイシ属の生存群体は確認されなかった。</li> <li>・大型定着性魚類は確認できなかった。</li> <li>・岩盤上では、第1回目調査と同様に海綿類が広く分布するのが確認された。</li> <li>・イソギンチャク類は白化から回復傾向にあった。</li> <li>・第1回目調査と同様、水深2m以深の岩盤上に生育する海藻類は少ない状況であった。</li> <li>・水深2mまでの岩上にホンダワラ幼体やモサズキ属、フクロノリが繁茂し、これらは第1回目調査では見られなかった。</li> </ul>	
調査地点図	
	<p>白枠地点：モニタリング1000 調査範囲 赤枠範囲：スポットチェック調査範囲 * 陸上部を除く</p> <p>位置座標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●：スポットチェック 31.54326° N, 130.61664° E</li> <li>■：5×5mコドラート 31.54348° N, 130.61670° E</li> <li>×：水温ロガー 31.54344° N, 130.61664° E</li> </ul> <p>* 再取得(10月)時と誤差があったため座標を再び取得</p>
代表景観①	代表景観②
	

調査地点: 桜島沖小島南部	調査日: 令和8年1月27日
調査水深: 3~12m	サンゴ被度: 5%未満 (スポットチェック)
底質: 岩・礫・砂	サンゴ育成型: 多種混成型
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガンガゼが多い(サンゴ群体上でも確認されたがサンゴを捕食している形跡はない)。</li> <li>・ミドリイシ属は第1回目調査と同様に生存群体はほとんど確認されなかった。</li> <li>・岩盤上では、第1回目調査と同様に海綿類が広く分布するのが確認された。</li> <li>・サンゴ類の白化はなし。イソギンチャク類は白化から回復傾向にあった。</li> <li>・大型定着性魚類は確認できなかった。</li> <li>・岩盤基質上に海藻類は少なく、無節サンゴモ類もほぼみられない。かろうじて岩陰のみ確認できる。</li> <li>・枠内外においてサンゴにオニヒトデ食痕のような痕を確認。</li> </ul>	
調査地点図	
	<p>白枠地点: モニタリング1000 調査範囲 赤枠範囲: スポットチェック調査範囲</p> <p>位置座標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●: スポットチェック 西側 31.54121° N, 130.61546° E 東側 31.54162° N, 130.61574° E</li> <li>■: 5×5mコドラート 31.54149° N, 130.61555° E</li> <li>×: 水温ロガー 31.54175° N, 130.61562° E</li> </ul> <p>*R6年度の設置位置と誤差があったため座標を再取得</p>
代表景観①	代表景観②

調査地点: 桜島沖小島東部	調査日: 令和8年1月27日
調査水深: 4~5m	サンゴ被度:
底質: 岩・礫・砂	サンゴ育成型:

・令和6年度業務で設置した水温ロガーを回収、新しい水温ロガーを設置した

調査地点図



白枠地点: モニタリング1000 調査範囲

位置座標

×: 水温ロガー

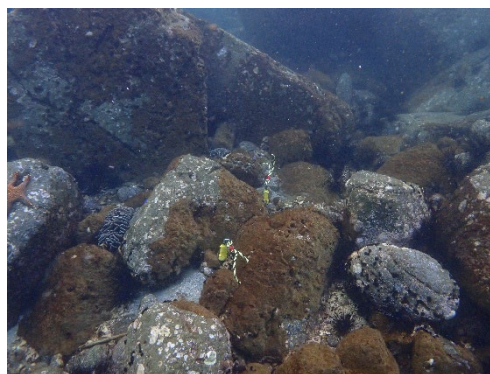
31.54397° N, 130.61692° E

\* R6年度の設置位置と誤差があったため座標を再取得

代表景観①



代表景観②



# スポットチェック野帳



観察野帳（スポットチェック）

地点名：桜島沖小島東部	調査日：2025年 10月 28日			
天候：快晴	調査時間：12:50 ~ 13:05			
水温：25.4℃	海象：静穏		潮汐：小潮	
記録者：岩永・岩橋	1回目	2回目	3回目	平均値
サンゴ被度	<5	<5	<5	<5
白化サンゴ被度	0	0	0	0
死亡サンゴ被度	<5	0	0	<5
死亡サンゴ(過年度死亡)被度	<5	<5	0	<5
白化ミドリイシ被度	0	0	0	0
死亡ミドリイシ被度	0	0	0	0
死亡ミドリイシ(過年度死亡)被度	<5	<5	0	<5

サンゴ生育型 合致するものに○をつける	過年度	枝状ミドリイシ優占種	特定類優占型
	多種	卓状ミドリイシ優占種	多種混成型
		枝状・卓状	ソフトコーラル優占
優占種：シコロサンゴ			

	1回目	2回目	3回目	
サンゴ加入度 コドラートの中の5cm以下のミドリイシ	0	0	0	個体/回

3地点  
実施する

	1	2	3	4	5
卓状ミドリイシサイズ(cm) 大きなもの上位5群（大きいものが多い時は下の欄の活用）					
出現なし					

オニヒトデ個体数	0 /個体 (15分)		
	~20cm (A4短辺)	20~30cm	30cm~ (A4長辺)
オニヒトデ優占サイズ	0	0	0

個体  
(最初の10個体)

株式会社沖縄環境分析センター

観察野帳

地点名：桜島沖小島東部

	最小	最大			
オニヒトデ最小サイズ 最大サイズ	0	0	c m		
オニヒトデ食害率	0	0	%		
サンゴ食巻貝の発生状況 合致するものに○をつける	食痕は目立たない				
	小さな食痕や食害部のある群体が散見				
	食痕は大きく、食害部のある群体が目立つが、数百個体以上からなる密集した貝集団は見られない。				
	斃死群体が目立ち、数百個体の密集した貝集団が散見				
巻貝食害率	0		%		
大型定着性魚類	ハタ	ベラ	ブダイ		
ハタ、ベラ、ブダイの仲間	1	0	5		個体

確認魚種 ( ヒブダイ )

					その他
底質 合致するものに○をつける	岩	礫	砂	泥	
水深	1	m	~	6	m

特記事項 (白化現象、オニヒトデ、サンゴ巻貝類、シルト堆積などの補足状況、ナガウニやガンガゼなど、その他の生物による被害、排水やアンカーなどの人為的被害、台風被害など特異的な状況、生物の産卵、希少種の目撃など)

- ・ガンガゼは多いが岸に近い浅場にはいない。
- ・ミドリイシ属は死サンゴのみ。
- ・シコロサンゴが最も多かった。
- ・水深3m以浅の浅所にサンゴはなかった。
- ・3月の調査で優占したホンダワラ類は確認されなかった。おそらく時期的な要因であると考え。
- ・岩盤上は海綿類で覆われる。
- ・岩盤基質上に海藻類は少なく、無節サンゴモ類もほぼみられない。かろうじて岩陰のみ確認できる。

株式会社沖縄環境分析センター

観察野帳（スポットチェック）

地点名：桜島沖小島南部	調査日：2025年 10月 28日			
天候：快晴	調査時間：9:35 ~ 10:00			
水温：25.3℃	海象：静穏		潮汐：小潮	
記録者：岩永・岩橋	1回目	2回目	3回目	平均値
サンゴ被度	6.25	<5	<5	<5
白化サンゴ被度	0	0	0	0
死亡サンゴ被度	<5	<5	<5	<5
死亡サンゴ(過年度死亡)被度	<5	<5	<5	<5
白化ミドリイシ被度	0	0	0	0
死亡ミドリイシ被度	0	<5	<5	<5
死亡ミドリイシ(過年度死亡)被度	0	<5	<5	<5

サンゴ生育型 合致するものに○をつける	過年度	枝状ミドリイシ優占種	特定類優占型
	多種	卓状ミドリイシ優占種	多種混成型
		枝状・卓状	ソフトコーラル優占
優占種：シコロサンゴ			

	1回目	2回目	3回目	
サンゴ加入度 コドラートの中の5cm以下のミドリイシ	0	0	0	3地点 実施する 個体/回

	1	2	3	4	5
卓状ミドリイシサイズ(cm) 大きなもの上位5群(大きいものが多い時は下の欄の活用)	100	68	45	18	

オニヒトデ個体数	0 /個体 (15分)		
	~20cm (A4短辺)	20~30cm	30cm~ (A4長辺)
オニヒトデ優占サイズ	0	0	0

個体  
(最初の10個体)

株式会社沖縄環境分析センター

観察野帳

地点名：桜島沖小島南部

	最小	最大			
オニヒトデ最小サイズ 最大サイズ	0	0	c m		
オニヒトデ食害率	0	0	%		
サンゴ食巻貝の発生状況 合致するものに○をつける	食痕は目立たない				
	小さな食痕や食害部のある群体が散見				
	食痕は大きく、食害部のある群体が目立つが、数百個体以上からなる密集した貝集団は見られない。				
	斃死群体が目立ち、数百個体の密集した貝集団が散見				
巻貝食害率	0		%		
大型定着性魚類	ハタ	ベラ	ブダイ		
ハタ、ベラ、ブダイの仲間	4	3	7		個体

確認魚種 ( ヒブダイ、イラ )

					その他
底質 合致するものに○をつける	岩	礫	砂	泥	
水深	3	m	~	16	m

特記事項（白化現象、オニヒトデ、サンゴ巻貝類、シルト堆積などの補足状況、ナガウニやガンガゼなど、その他の生物による被害、排水やアンカーなど的人為的被害、台風被害など特異的な状況、生物の産卵、希少種の目撃など）

- ・ガンガゼが多い（ただしサンゴ群体上にはいない）。一部が砂礫上に分布。
- ・ミドリイシ属はほとんどが斃死。
- ・過年度死サンゴ上をカイメン類が覆っている。
- ・サンゴ類の白化はなし。イソギンチャク類は白化個体あり。
- ・岩盤上は海綿類で覆われる。
- ・岩盤基質上に海藻類は少なく、無節サンゴモ類もほぼみられない。かろうじて岩陰のみ確認できる。
- ・釣り具（疑似餌）を数個確認。近傍に釣り人も確認した。

株式会社沖縄環境分析センター

観察野帳（スポットチェック）

地点名：ケイレ湾	調査日： 2025年 10月 29日			
天候：快晴	調査時間： 11:20 ~ 11:35			
水温：25.1℃	海象： 静穏		潮汐： 小潮	
記録者：岩永・岩橋	1回目	2回目	3回目	平均値
サンゴ被度	40	25	10	25
白化サンゴ被度	0	0	0	0
死亡サンゴ被度	<5	<5	<5	<5
死亡サンゴ(過年度死亡)被度	<5	<5	<5	<5
白化ミドリイシ被度	<5	<5	0	0
死亡ミドリイシ被度	<5	<5	0	<5
死亡ミドリイシ(過年度死亡)被度	<5	<5	<5	<5

サンゴ生育型 合致するものに○をつける	過年度	枝状ミドリイシ優占種	特定類優占型
	-	卓状ミドリイシ優占種	多種混成型
		枝状・卓状	ソフトコーラル優占
優占種：			

	1回目	2回目	3回目	
サンゴ加入度 コドラートの中の5cm以下のミドリイシ	0	0	0	3地点 実施する 個体/回

	1	2	3	4	5
卓状ミドリイシサイズ(cm) 大きなもの上位5群（大きいものが多い時は下の欄の活用）	170	160	130	120	110

オニヒトデ個体数	0 /個体（15分）		
	~20cm (A4短辺)	20~30cm	30cm~ (A4長辺)
オニヒトデ優占サイズ	0	0	0

個体  
(最初の10個体)

株式会社沖縄環境分析センター

観察野帳

地点名：ケイレ湾

	最小	最大			
オニヒトデ最小サイズ、最大サイズ			cm		
オニヒトデ食害率			%		
サンゴ食巻貝の発生状況合致するものに○をつける	食痕は目立たない				
	小さな食痕や食害部のある群体が散見				
	食痕は大きく、食害部のある群体が目立つが、数百個体以上からなる密集した貝集団は見られない。				
	斃死群体が目立ち、数百個体の密集した貝集団が散見				
巻貝食害率	0		%		
大型定着性魚類	ハタ	ベラ	ブダイ		
ハタ、ベラ、ブダイの仲間	2	2	3		個体

確認魚種 ( )

					その他
底質合致するものに○をつける	岩	礫	砂	泥	
水深	2	m	~	8	m

特記事項（白化現象、オニヒトデ、サンゴ巻貝類、シルト堆積などの補足状況、ナガウニやガンガゼなど、その他の生物による被害、排水やアンカーなどの人為的被害、台風被害など特異的な状況、生物の産卵、希少種の目撃など）

- ・ガンガゼは少ない。岩陰に潜んでいる。
- ・岩盤基質上はホンダワラ類の幼体や微細紅藻類が多い。おそらく春季にはホンダワラ藻場（ガラモ場）を形成すると考えられる。
- ・サンゴ類の白化はなし。イソギンチャクは白化。
- ・ミドリイシ属は散房花状が多く、卓上は少ない。
- ・調査地点外では大型のオニヒトデ1個体（約40cm）を確認。
- ・やや濁りあり。
- ・近傍に釣り人を確認した。
- ・シコロサンゴ属のほかにハマサンゴ属、ルリサンゴ属、コモンサンゴ属、キクメイシ属等多様なサンゴ類を確認。

株式会社沖縄環境分析センター

観察野帳（スポットチェック）

地点名：桜島沖小島東部	調査日：2026年 1月 27日			
天候：快晴	調査時間：12:05 ~ 12:20			
水温：16.1℃	海象：静穏	潮汐：小潮		
記録者：伊藤・岩橋	1回目	2回目	3回目	平均値
サンゴ被度	<5	<5	<5	<5
白化サンゴ被度	0	0	0	0
死亡サンゴ被度	0	0	0	0
死亡サンゴ(過年度死亡)被度	0	0	0	0
白化ミドリイシ被度	0	0	0	0
死亡ミドリイシ被度	0	0	0	0
死亡ミドリイシ(過年度死亡)被度	0	0	0	0

サンゴ生育型 合致するものに○をつける	過年度	枝状ミドリイシ優占型	特定類優占型
	多種	卓状ミドリイシ優占型	多種混成型
		枝状・卓状ミドリイシ混成型	ソフトコーラル優占
優占種：シコロサンゴ			

	1回目	2回目	3回目	
サンゴ加入度 コトラートの中の5cm以下のミドリイシ	0	0	0	個体/回

3地点  
実施する

	1	2	3	4	5
卓状ミドリイシサイズ(cm) 大きなもの上位5群(大きいものが多い時は下の欄の活用)					
出現なし					

オニヒトデ個体数	0 /個体 (15分)		
	~20cm (A4短辺)	20~30cm	30cm~ (A4長辺)
オニヒトデ優占サイズ	0	0	0

個体  
(最初の10個体)

株式会社沖縄環境分析センター

観察野帳

地点名：桜島沖小島東部

	最小	最大			
オニヒトデ最小サイズ 最大サイズ	0	0	c m		
オニヒトデ食害率	0	0	%		
サンゴ食巻貝の発生状況 合致するものに○をつける	食痕は目立たない				
	小さな食痕や食害部のある群体が散見				
	食痕は大きく、食害部のある群体が目立つが、数百個体以上からなる密集した貝集団は見られない。				
	斃死群体が目立ち、数百個体の密集した貝集団が散見				
巻貝食害率	0		%		
大型定着性魚類	ハタ	ベラ	ブダイ		
ハタ、ベラ、ブダイの仲間	0	0	0		個体

確認魚種 ( )

					その他
底質 合致するものに○をつける	岩	礫	砂	泥	
水深	1	m	～	6	m

特記事項（白化現象、オニヒトデ、サンゴ巻貝類、シルト堆積などの補足状況、ナガウニやガンガゼなど、その他の生物による被害、排水やアンカーなどの人為的被害、台風被害など特異的な状況、生物の産卵、希少種の目撃など）

- ・ガンガゼは多いが岸に近い浅場にはいない。
- ・ミドリイシ属の生存群体は確認されなかった。
- ・大型定着性魚類は確認できなかった。
- ・岩盤上では、第1回目調査と同様に海綿類が広く分布するのが確認された。
- ・イソギンチャク類は白化から回復傾向にあった。
- ・第1回目調査と同様、水深2m以深の岩盤上に生育する海藻類は少ない状況であった。
- ・水深2mまでの岩上にホンダワラ幼体やモサズキ属、フクロノリが繁茂し、これらは第1回目調査では見られなかった。

株式会社沖縄環境分析センター

観察野帳（スポットチェック）

地点名：桜島沖小島南部	調査日：2026年 1月 27日			
天候：快晴	調査時間：15:15 ~ 15:30			
水温：16.4℃	海象：静穏	潮汐：小潮		
記録者：伊藤・岩橋	1回目	2回目	3回目	平均値
サンゴ被度	<5	<5	<5	<5
白化サンゴ被度	0	0	0	0
死亡サンゴ被度	<5	<5	0	<5
死亡サンゴ(過年度死亡)被度	<5	<5	0	<5
白化ミドリイシ被度	0	0	0	0
死亡ミドリイシ被度	0	<5	0	<5
死亡ミドリイシ(過年度死亡)被度	0	<5	0	<5

サンゴ生育型 合致するものに○をつける	過年度	枝状ミドリイシ優占型	特定類優占型
	多種	卓状ミドリイシ優占型	多種混成型
		枝状・卓状ミドリイシ混成型	ソフトコーラル優占
優占種：シコロサンゴ			

	1回目	2回目	3回目	
サンゴ加入度 コトラートの中の5cm以下のミドリイシ	0	0	0	個体/回

3地点  
実施する

	1	2	3	4	5
卓状ミドリイシサイズ(cm) 大きなもの上位5群(大きいものが多い時は下の欄の活用)	70	45			

オニヒトデ個体数	0 /個体 (15分)		
	~20cm (A4短辺)	20~30cm	30cm~ (A4長辺)
オニヒトデ優占サイズ	0	0	0

個体  
(最初の10個体)

株式会社沖縄環境分析センター

観察野帳

地点名：桜島沖小島南部

	最小	最大			
オニヒトデ最小サイズ 最大サイズ	0	0	c m		
オニヒトデ食害率	0	0	%		
サンゴ食巻貝の発生状況 合致するものに○をつける	食痕は目立たない				
	小さな食痕や食害部のある群体が散見				
	食痕は大きく、食害部のある群体が目立つが、数百個体以上からなる密集した貝集団は見られない。				
	斃死群体が目立ち、数百個体の密集した貝集団が散見				
巻貝食害率	0		%		
大型定着性魚類	ハタ	ベラ	ブダイ		
ハタ、ベラ、ブダイの仲間	0	0	0		個体

確認魚種 ( )

					その他
底質 合致するものに○をつける	岩	礫	砂	泥	
水深	3	m	~	12	m

特記事項（白化現象、オニヒトデ、サンゴ巻貝類、シルト堆積などの補足状況、ナガウニやガンガゼなど、その他の生物による被害、排水やアンカーなどの人為的被害、台風被害など特異的な状況、生物の産卵、希少種の目撃など）

- ・ガンガゼが多い（サンゴ群体上でも確認されたがサンゴを捕食してしている形跡はない）。
- ・ミドリイシ属は第1回目調査と同様に生存群体はほとんど確認されなかった。
- ・岩盤上では、第1回目調査と同様に海綿類が広く分布するのが確認された。
- ・サンゴ類の白化はなし。イソギンチャク類は白化から回復傾向にあった。
- ・大型定着性魚類は確認できなかった。
- ・岩盤基質上に海藻類は少なく、無節サンゴモ類もほぼみられない。かろうじて岩陰のみ確認できる。
- ・枠内外においてサンゴにオニヒトデ食痕のような痕を確認。

株式会社沖縄環境分析センター

# 水温計測結果

(電子データへ掲載)

